

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路施設等維持管理事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	土木部	課	みち・みどり室	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち					
	施策目標	1.災害に対する備えができています					
	実行計画名						

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	社会資本整備重点計画法						
関係補助金名称				サンセット	~		

事業対象	メインターゲット	市道施設を利用する市民すべて。
	サブターゲット	市道施設を利用する事業者すべて
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に交通できないと人の交流及び物流が滞る。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路を安全・安心に交通できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。
---------------------------	--------------------------------------

事業概要	<p>パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事</p> <p>橋梁長寿命化修繕業務</p> <p>街路樹等の除草清掃委託作業市内の駅前(枚方市駅前、枚方公園・御殿山・牧野・楠葉・津田・長尾)駅前広場等の清掃を委託事業</p> <p>約3,200基ある道路照明の維持修繕業務</p> <p>市駅前・新町地区・岡本町・牧野駅前東口に設置のエレベーター及び長尾駅に設置のエレベーター・エスカレーター施設の法定点検や監視業務等</p>
------	--

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		道路施設が適切に維持管理できている。	パトロールや道路利用者等からの要望により、補修箇所を把握し、補修及び改良をする。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	指標種類	増加することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標									
	指標数値	単位	単位	%									
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	3,400	3,400	3,400	3,400
	達成度					96%				113%			
	分析			市民の安全に影響の大きい要望については 応急対応も含めすべて対応を完了している。 予算確保等の課題のあるもの、年度末にあつた 要望の一部については、翌年度に対応を 繰越している。	目標は下回ったものの、道路施設等の老朽 化等に伴い、要望件数は増加傾向にある。								

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		橋梁が適切に維持管理できている。	橋梁長寿命化に向け、必要な修繕を行う。

指標設定②	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	指標種類	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
	指標数値	単位	単位	%									
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	6	6	7	6
	達成度					100%				100%			
	分析			計画どおり実施できており、目標を達成して いる。	計画どおり実施できており、目標を達成して いる。								

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					LED化により、街路灯の電気代が上がらない。				街路灯のLED化を行う。			
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				街路灯の電気代が上がらない。				LEDに交換した基数			
	単位				単位				単位			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)				100 100 100 100				5 5 5 5			
	実績				93.70				0			
	達成度				94%				0%			
分析				道路照明の年間電気代について、R1年度に比べR2年度は減少した。				水銀灯の道路照明に不具合が発生した場合に随時LEDに交換しているが、R2年度は不具合がなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	19.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	173,605	160,177	152,346		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,823	2,066	1,911		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	175,428	162,243	154,257		
	物件費計	705,902	551,097	569,164	612,231	93%	
	歳出計	881,330	713,340	723,421			
歳入	国庫支出金	117,100	37,700	12,100	17,560		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	375,749	377,294		
	市債	23,500	0	36,000	66,000		
	その他	0	366,411	1,747	1,746		
	歳入計	140,600	404,111	425,596	462,600		
一般財源		740,730	309,229	143,568	149,631		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 R2年度は、市民・自治会等からの通報、要望や職員によるパトロールに基づく対応を2,949件、小規模工事・単価契約の道路補修工事を69件実施するとともに、約3,200基ある道路照明の維持修繕、約700箇所ある街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。道路等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算執行している。また、道路・橋梁施設の保全や除草などの維持管理に係る委託や小規模修繕のほか、費用対効果や即応性から委託等がなじまない道路補修や市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこなどの緊急対応、災害時の対応を直営施行にて行っている。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民が安全で安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	準用河川等維持管理事業						
測定年度	2020(R2)年度		部	土木部	課	みち・みどり室	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち					
	施策目標	1.災害に対する備えができています					
	実行計画名						

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	社会資本整備重点計画法						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	準用河川沿線に住む住民すべて
	サブターゲット	準用河川沿線で事業を行う事業者すべて
	ターゲットが抱える課題	河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。
---------------------------	---------------------------------------

事業概要	<p>準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準用河川等の除草委託</li> <li>・準用河川等の清掃委託</li> <li>・準用河川の補修工事</li> <li>・急傾斜等の除草委託</li> <li>・一般河川の維持管理(分任分)</li> <li>・その他直営による保全活動</li> </ul>
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	準用河川等が適切に維持管理できている。				インプット (活動)	準用河川等の各種保全活動を行う。			
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】					「準用河川」の除草・清掃にかかる委託・工事の実施回数				
	指標種類	単位				単位	%	単位				回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2		
	実績					53				3					
	達成度					147%				50%					
分析					委託の契約差金により予算額と決算額に乖離はあるが、当初に予定していた各種保全活動はすべて実施できている。				当初の予定以外に、要望を受けて流水機能を確保する清掃委託を1件追加したため						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.08
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	36,953	18,263	20,729		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	255	302	255		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	37,208	18,565	20,984		
	物件費計	90,858	52,923	36,810	69,600	53%	
	歳出計	128,066	71,488	57,794			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	8,200	0	10,600	20,600		
	その他	0	3,436	0	0		
	歳入計	8,200	3,436	10,600	20,600		
一般財源		119,866	68,052	26,210	49,000		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	R2年度は、委託として八田川他除草委託、車谷川他清掃委託、他3件の委託を実施した。本事業は、各種委託契約において契約差金が発生したこと、施設の損傷に伴う修繕も少なかったため、R2年度の予算執行率は52.9%にとどまっている。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、準用河川の機能確保のため、年間除草委託及び緊急時の工事対応等ができるように進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	舗装長寿命計画事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	土木部			課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	幹線道路を利用する市民すべて。				
	サブターゲット	幹線道路を利用する事業者すべて。				
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。				
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。					
事業概要	道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図るため、平成30年度に策定した舗装長寿命化修繕計画に基づき、5年毎に路面性状調査を実施し、舗装の損傷状況に応じた工法により予防保全型の修繕を行う。 【対象路線】:都市計画道路、主要道路リフレッシュ整備事業路線 【修繕予定 延長】:L=37,004m(都市計画道路:9,049m、主要道路リフレッシュ整備事業路線:27,955m)					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「舗装長寿命化計画」通りに舗装補修を行うことにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				「舗装長寿命化計画」に基づき、舗装補修を行う。			
指標設定	指標説明					計画予定延長のうち、補修延長の割合 【算出式: 補修延長/計画予定延長×100】				舗装補修を実施した年間補修延長距離			
	指標種類	単位				単位 %				単位 m			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					1500/370 04	2500/370 04	3500/370 04	4500/370 04	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績					6.60				1,709			
	達成度					57%				171%			
分析					舗装延長の割合が目標値を上回ったのは、R1年度に予定していた工事を、R2年度に繰越して実施したことによるものである。				年間補修延長距離の割合が目標値を上回ったのは、R1年度に予定していた工事を、R2年度に繰越して実施したことによるものである。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,891	6,414	6,380		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,891	6,414	6,380		
	物件費計	7,518	4,620	94,559	68,000	139%	
	歳出計	13,409	11,034	100,939			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	84,900	61,200		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	84,900	61,200		
一般財源		13,409	11,034	9,659	6,800		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>損傷による事故の未然防止を図る予防保全型の計画である舗装長寿命化計画に基づき、計画的に修繕工事を実施している。R2年度は、長尾春日線他5路線の工事を実施し、令和3年度に工事を予定している実施設計を行った。</p> <p>本事業の予算執行率が139.1%となっているが、これはR1年度に予定していた工事を、R2年度に繰越して実施したことによるものであり、事業全体としては計画どおり進捗している。</p>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、予定延長を実施できるように、舗装長寿命化計画に基づき実施していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	主要道路リフレッシュ整備事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち												
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の主要幹線道路を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	市内の主要幹線道路を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	市内主要幹線道路は交通量も多く、道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞り、事故も増える。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進み、事故も減っている状態。				
事業概要	開通時からの利用状況の変化に舗装構造が合わなくなった主要幹線道路の12路線に対して、地盤等の調査結果を基に、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新(リフレッシュ整備)を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進み、事故も減っている。				計画的に整備延長を修繕できている。				市内の主要幹線道路12路線のうち、路面損傷や支持力等の調査の上、リフレッシュ整備を行う。			
指標説明		振動騒音の数値レベル 【修繕前の振動騒音の数値-修繕後の振動騒音の数値】				計画予定延長のうち、整備延長の割合 【算出式: 整備延長/計画予定延長×100】				主要路線の整備延長			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3	38	38	38	38	1,090	1,090	1,100	1,100
	実績	▲ 3				18				200			
達成度		100%				47%				18%			
分析		目標を達成した。				国の交付金の内示率が低かったため、目標に比べ整備延長に割合が伸びなかった。				国の交付金の内示率が低かったため、目標に比べ整備延長が伸びなかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,442	14,030	8,374		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	12,442	14,030	8,374		
	物件費計	72,344	186,353	99,198	152,000	65%	
	歳出計	84,786	200,383	107,572			
歳入	国庫支出金	40,500	72,881	37,600	53,600		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	35,800	0	59,700	112,100		
	その他	0	4,000	0	0		
	歳入計	76,300	76,881	97,300	165,700		
	一般財源	8,486	123,502	1,898	▲ 13,700		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	安全で快適な道路環境の確保を図るため、主要幹線道路や都市計画道路など12路線の路面の補修等を行うリフレッシュ整備を計画的に推進している。令和2年度は、中宮津田線・牧野長尾線・長尾船橋線の3路線の舗装修繕工事を実施した。本事業は、国の交付金を活用して実施しており、R2年度は交付金の内示率が低かったため、予算の執行率は65.3%とどまり、これに伴って整備延長も目標値を下回った。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画予定延長を実施できるように、今後も交付金の活用を積極的に行う。また、修繕を進めていく主要な幹線道路を明確にする。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	官民連携公園施設管理運営事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名	24-1.公園施設の整備と維持管理											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	都市公園法、地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公園において、スポーツを楽しみたい市民、花や緑に触れ合いたい市民、読書などでくつろぎたい市民
	サブターゲット	公園のパブリックスペースを活用してイベント催事などを開催したい市民団体、事業者
	ターゲットが抱える課題	身近でスポーツを楽しんだり、花や緑に触れ合ったり、読書などでくつろげたりできる、市民相互の交流の場が少ない
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園の持つ機能を活かし、市民や事業者、行政が協働で公園を活用することで新たな魅力化を図り、市民相互の交流の場が創造される。
---------------------------	---

事業概要	<p>民間事業者に公園施設の指定管理運営を委託することで、市民(団体)の利用手続きについて簡素化を図ると共に、魅力的で集客効果のあるイベントを開催させるとことで、利用頻度・満足度を向上させる。 なお、施設の指定管理の方法については、公園の施設種別、目指す利用状況等に合わせて委託する。</p> <p>【指定管理の種類】 都市公園有料施設(王仁公園、中の池公園、香里ヶ丘中央公園の運動施設) 鏡伝池緑地(市民の森) 香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場(令和2年度指定管理開始) ※香里ヶ丘中央公園の有料化可能な施設(駐車場含む)については、平成30年度から再整備を実施中</p>
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。	スポーツ教室、イベント等を実施することで、市民相互の交流の場が創造される	運動広場などの公園有料施設にて、各種スポーツ教室、イベント等を実施。

指標設定	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】	各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント参加者数	各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント開催数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 70, R3: 75, R4: 75, R5: 75	R2: 3,700, R3: 3,800, R4: 3,800, R5: 3,800	R2: 100, R3: 110, R4: 110, R5: 110
	実績	69	461	25
	達成度	99%	12%	25%
	分析	目標値に向けて進捗しており、市民の満足度も概ね高い傾向にあると判断できる。	コロナ禍の影響により、イベントの実施を自粛したため参加者数が減少した。	コロナ禍の影響により、イベントの実施を自粛したため開催数が減少した。

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。	イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。	鏡伝池緑地(市民の森)にて、各種イベントを実施。

指標設定②	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】	各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における入園者数	各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における講習会、展示会の開催数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 70, R3: 75, R4: 75, R5: 75	R2: 49,000, R3: 50,000, R4: 50,000, R5: 50,000	R2: 30, R3: 32, R4: 32, R5: 32
	実績	69	64,762	12
	達成度	99%	132%	40%
	分析	目標値に向けて進捗しており、市民の満足度も概ね高い傾向にあると判断できる。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外で遊べる公園の需要が高まったことが要因と考えられる。	コロナ禍の影響により、イベントの実施を自粛したため開催数が減少した。

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。				香里ヶ丘中央公園みどりの広場にて、各種イベントを実施。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定③	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント参加者数				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	75	75	75	240	260	280	280	12	13	14	14
	実績	69				89				7			
	達成度	99%				37%				58%			
分析	目標値に向けて進捗しており、市民の満足度も概ね高い傾向にあると判断できる。				コロナ禍の影響により、イベントの実施を自粛したため参加者数が減少した。				コロナ禍の影響により、イベントの実施を自粛したため開催数が減少した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.11
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,495	38,880	23,657		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,683	0	336		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	16,178	38,880	23,993		
	物件費計	184,421	137,598	94,397	99,118	95%	
歳出計		200,599	176,478	118,390			
歳入	国庫支出金	2,000	8,700	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	47,069	0	0	0		
	市債	1,800	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	50,869	8,700	0	0		
一般財源		149,730	167,778	94,397	99,118		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント自粛や施設の利用停止が続き、イベントの開催数や参加者数は減少した。また、東部公園の指定管理者制度の導入について、トライアルサウンディングによる市場性の調査のため公募等の準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。コロナ渦の中で、外で利用できる公園の需要は高まってきており、指定管理者制度を効果的に活用し、魅力ある公園施設の提供に努め、多様化・高度化する市民ニーズに対応していく。

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	トライアルサウンディング等の実施を行い、指定管理者制度の更なる拡充の検討を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公園・緑地開発指導事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業		
事業期間	1998(H10)年度		年度	~	年度まで			
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例、大阪府自然環境保全条例							
関係補助金名称				サンセット			~	
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	市内において宅地造成をしようとする開発事業者や建物を建築しようとする建築主など						
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民や開発地や建築敷地に隣接し、生活環境に影響が生じる住民						
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づき市が求める公園や緑化の計画を適切に行うために技術的(形状・態様)指導が必要						
	ターゲットが抱える課題	緑が持つ機能、役割が再認識され、緑の保全、回復、創出を求める声が多い。						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導することにより、まち全体が自然と共生し、美しい環境を守り育てる</li> <li>市民全体がみどりの効果を楽しむことができる</li> </ul>							
事業概要	公園、緑地開発指導等事務として、 ①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園・緑地の整備を指導 ②開発指導物件の中間・完了検査 ③帰属公園・緑地の検査 ④建築事前協議で緑化等指導 ⑤府条例に基づく建築物緑化の指導・届出受理等事務処理を行う。							

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						適切な指導により、良好な公園や緑地が整備され、市民全体がみどりの効果を楽しむことができる。				開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導する。			
指標設定	指標説明					指導により整備が完了した公園・緑地の件数(累計)				条例に基づく指導件数(累計)			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					20	40	60	80	40	80	120	160
	実績					32				33			
	達成度					160%				83%			
分析					R1年度以前に開発協議を行った開発の着手がR2年度に集中したため、実績値は目標値を上回った。				目標値は下回ったが、開発行為などによる公園や緑地整備などは各種条例に基づき適切に指導を行っている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,256	7,389	16,097	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	128	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	13,384	7,389	16,097	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	13,384	7,389	16,097		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	1,265	1,229	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	5	0	0	
	歳入計	1,265	1,234	0	0	
一般財源		12,119	6,155	0	0	

#### 5. 総括的分析

本事業は、開発事業などの申請に対して、都市計画法並びに、枚方市開発事業等に関する条例に基づき公園・緑地の整備指導を行うもので、①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園の整備を指導、②開発指導物件の中間・完了検査、③帰属公園の検査が主な業務となる。同整備指導の現行の基準(開発区域面積3千㎡以上で3%)では、90㎡余りの小規模であり利用されない公園が多く生み出される課題があるため、開発手続条例の改正に併せ、公共・公益施設整備基準で定められている提供公園整備基準を見直しを検討していく。

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	開発手続条例の改正に併せ、公共・公益施設整備基準で定められている提供公園整備基準を見直しを進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	星ヶ丘公園整備事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2010 (H22) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	星ヶ丘公園近隣に住む住民すべて。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	市街地に市民の憩いの場所や自然林が少ない				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。					
事業概要	都市計画公園である星ヶ丘公園を整備していく。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。	取得した用地について、適切な整備を行う。				用地取得を行う。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	公園整備地域住民一人あたり公園面積の増加				整備面積				用地取得面積				
	単位				単位				単位				
	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>				
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績	0				0				0				
達成度	0%				0%				0%				
分析	住民一人あたりの公園整備面積は2.51m <sup>2</sup> で、R1年度から横ばいである。				財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、R2年度の実績はなし。				財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、R2年度の実績はなし。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.78
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,346	6,093	14,196		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,346	6,093	14,196		
	物件費計	226,124	35,583	0	0	—	
	歳出計	231,470	41,676	14,196			
歳入	国庫支出金	19,000	13,120	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	34,200	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	53,200	13,120	0	0		
一般財源		178,270	28,556	0	0		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	星ヶ丘公園の整備については、平成22年度から公園南側の自然林部分の用地取得を開始し、平成24年度に第1工区を、平成27年度は第2工区の整備を行い、散策路を一部開放した。平成29年度は用地取得を行った。また、平成30年度及び令和元年度に第3工区の整備を行い、散策路及び管理用通路を全面開放した。 本事業は、財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、現時点では事業を実施できる状況にない。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	休止
今後の取組方針	財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、事業を休止する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市公園等維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	2004(H16)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例												
関係補助金名称											サンセット	~	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		公園利用者すべて。										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。												
事業概要	公園緑地等725箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検及び塗装や修繕等の維持管理を行う。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					都市公園が適切に維持管理できている。				都市公園の施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明				各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				都市公園の各種保守点検等実施回数 【春期剪定3件/夏期剪定6件/冬期剪定6件/草刈9件/害虫防除3件/緑地管理4件/駅前花壇他6件/施設点検7件/排水管他清掃1件/巡回警備4件/遊具塗装4件】				
	単位				単位				%				
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)				100以内				53			
	実績				99.10				43				
達成度				101%				81%					
分析				公園緑地等725箇所の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、予算の範囲内で最大限の対応を行っているため高い予算執行率となっている。				同種の委託を集約することで回数は減少したが、当初予定していた各種点検や委託等はすべて実施できている。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	17.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.77
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	202,069	176,020	138,366		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,006	1,378	5,411		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	204,075	177,398	143,777		
	物件費計	722,894	452,011	520,077	524,856	99%	
	歳出計	926,969	629,409	663,854			
歳入	国庫支出金	1,285	0	0	0		
	府支出金	226	231	231	236		
	受益者負担(使用料・手数料)	3,010	0	5,653	6,609		
	市債	0	0	19,400	19,500		
	その他	400	11,411	2,214	2,217		
	歳入計	4,921	11,642	27,498	28,562		
	一般財源	922,048	617,767	492,579	496,294		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 公園や緑地の樹木管理及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の塗装や点検及び修繕等を実施している。R2年度は、日常点検や市民・自治会等からの通報、要望2,261件等に基づき除草や遊具の修繕等を行うなど、公園緑地等725箇所の維持管理を行った。公園や緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算を執行している。また、費用対効果から委託や小規模工事のなじまない軽易な修繕や日常点検などの維持管理や利用者の安全に影響のある施設の損傷等への緊急対応などを行うため、直営作業に要する人員配置を行っている。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、公園を安全・安心に利用できるように、施設の日常点検や効率的に除草・剪定などを委託実施する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	保存樹木・保存樹林補助事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、枚方市保存樹等管理補助金交付要綱、保存樹等管理補助金交付要領				
関係補助金名称	保存樹林・樹木補助金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市が指定した保存樹木・樹林の維持管理を行う者			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民			
	ターゲットが抱える課題	市に指定された保存樹木・樹林を適正に管理するためには経済的な負担がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保存樹木・樹林が適正に管理されることで市民全体が豊かな緑を感じ、みどりの効果を楽しむことができる				
事業概要	<p>以下の要件に該当する市が指定した保存樹木・樹林に対して、維持管理経費として補助金を交付する。 (都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律施行令及び枚方市保存樹等管理補助金交付要綱で規定)</p> <p>【保存樹木】 補助金・・・1万円/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.5メートルの高さにおける幹の周囲が1.5メートル以上であること</li> <li>・高さが15メートル以上であるもの</li> <li>・株立ちした樹木で高さが3m以上であるもの</li> <li>・推定100年以上生育し、由緒あるもの</li> </ul> <p>【保存樹林】 補助金・・・面積規模による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね500平方メートル以上であるもの</li> <li>・500平方メートル以下であっても由緒ある樹木の集団であるもの</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		適正な維持管理により、市民全体が豊かなまちなかのみどりを感じ、みどりの効果を楽しんでいる。				補助金を基に、各保存樹木・樹林に対し、適切な維持管理が出来ている。				市が指定した保存樹木・樹林に対して、維持管理経費として補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	市民が、まちなかのみどりの効果を楽しんでいると感じている割合 【算出式まちなかの緑を感じていると回答した人数:/みどりに関する催しの来場者や講座の出席者へのアンケートの回答者数×100】				保全樹木・樹林の適正に管理された箇所数				保存樹木・樹林等補助金の申請件数(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	30	31	32	33	22	44	66	88	22	44	66	88
	実績	22				22				9			
	達成度	73%				100%				159%			
分析	コロナ禍の影響によりスマホアンケートしか実施できず、回答数も73人であった。今後は調査方法を含め、実績値の抽出方法の検討が必要である。				保存樹木・樹林に関して大きな事故等は発生しておらず、各所有者において適切に日常管理が行われているものと判断できる。				支援を必要とする申請者に対しては、すべて適切に補助金の交付ができています。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,752	3,425	5,851		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,752	3,425	5,851		
	物件費計	950	3,295	3,246	3,550	91%	
	歳出計	5,702	6,720	9,097			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		5,702	6,720	3,246	3,550		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	保存樹木・樹木の日常管理については、本補助金も活用し各所有者において適切に管理されているが、R1～2年度にかけて実施した「枚方市保存樹木実態調査」において、先の自然災害などで、参道や建物に危険な影響を及ぼす可能性のある危険木が確認されており、日常の維持管理の範疇では行うことが困難なため、今後、対策を検討する必要がある。また、本事業は緑化推進事業も含め、体系の整理が必要である。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	参道や建物に危険な影響を及ぼす可能性のある危険木の対策を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	菊花展開催及び菊づくり普及啓発事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	みち・みどり室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名		24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方の菊文化を継承する市民及び市民団体				
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民等				
	ターゲットが抱える課題	菊文化を知る機会や菊づくりを継承する場が少なく、菊づくりの担い手が高齢化し、継承者が不足している。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民・市民団体が主体となり菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPRできている					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊花展の開催</li> <li>・菊づくり連続講座の開催</li> <li>・小菊栽培講習会の開催</li> </ul>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。				市民が菊文化に関して触れる機会が増える。				菊花展を開催する。			
指標設定	指標説明	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると感じていると回答した人数 / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】				菊花展の来場者数(累計)				菊花展への菊の出展鉢数(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	31	32	33	30,000	61,000	93,000	126,000	1,000	2,050	3,100	4,150
	実績	47				20,400				527			
	達成度	157%				68%				53%			
分析	アンケート結果から、菊に対して市民等の関心は高い傾向にある。				コロナ禍の中での開催であったが、目標値の約7割の来場があり、菊に対して市民等の関心は高い傾向にあると判断できる。				目標値との乖離は、コロナ禍の影響により、菊づくりの連続講座を中止したため、例年に比べ受講者の出展が減少したものである。				
ロジックモデル②		市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。				市民が、菊づくりに関して触れる機会が増え、菊づくりが継承できる。				菊づくり講座の開催。			
指標設定②	指標説明	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると感じていると回答した人数 / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】				菊づくり連続講座生が出展した菊の鉢数(累計)				菊づくり講座の開催回数(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	31	32	33	280	600	920	1,240	43	92	141	190
	実績	47				0				0			
	達成度	157%				0%				0%			

	分析	アンケート結果から、菊に対して市民等の関心は高い傾向にある。	コロナ禍の影響により講座を中止したため、受講生による出展はなかった。	コロナ禍の影響により講座は中止した。なお、講座にかわるものとして、菊づくりの育成方法等の動画配信を行った。
--	----	--------------------------------	------------------------------------	---

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,793	5,612	7,227		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	182	216	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,975	5,828	7,227		
	物件費計	6,732	6,950	7,042	7,050	100%	
	歳出計	11,707	12,778	14,269			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		11,707	12,778	7,042	7,050		

#### 5. 総括的分析

市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「菊花展」を開催するとともに、菊花展実行委員会と連携して市民の菊づくりの推進を図っている。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ三密を避けるため小菊栽培の講座を動画配信に変更し、延べ2,351回の視聴があった。また、菊花展に市民菊人形の会の作品や、市民、学校園が育てた菊を展示することで、市の花「菊」の普及啓発を図った。目標値との乖離や予算執行率の低さはコロナ禍の影響により菊づくり連続講座を中止したことによるもので、このような状況の中でもアンケート結果や菊花展の来場数は比較的高い傾向を示しており、市民の菊への関心の高さが窺える。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民の菊文化を守り育てるため、各種取り組みを推進していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	緑化推進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	土木部			課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	R4				
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名	24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁、要綱(枚方市花と緑のまちづくり事業補助金交付要綱・枚方市苗木等配付事業実施要綱)				
関係補助金名称	①花と緑のまちづくり事業補助金②緑化活動団体支援補助金		サンセット	①H26 ②R2	①R4 ②R4
関係附属機関名称	花と緑のまちづくり事業選定審査会				
事業対象	メインターゲット	みどりに触れ合う市民や緑化推進を図る市民、市民団体、事業者			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民			
	ターゲットが抱える課題	緑化を推進する機会や場が少ない			
	ターゲットが抱える課題	活動団体等の固定化、高齢化で活動の継続性の担保が取れない			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民や事業者が主体となり積極的かつ効果的に緑化活動を展開できており、市民全体がみどりの効果を楽しんでいる				
事業概要	①緑化フェスティバル(みどりの月間事業)の開催 ②花と緑の園芸楽校の開催 ③花と緑のまちづくり事業の実施(公園などの公共空地や宅地の緑化活動に対する支援) ④花いっぱい健康づくりプロジェクトの実施(老健施設等での花育成やアダプト団体への花配布) ⑤緑化活動団体支援事業 ⑥新生児誕生記念苗木配付事業 ⑦緑化樹木配付事業 ⑧みどりに関する講習会の開催 ⑨花いっぱい運動の実施(学校やアダプト団体への種や資材の配布) ⑩花と緑のまちづくり基金の活用				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)		
	都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。	みどりに関わる機会の増加や知識を得ることで、みどりづくりに関わる市民を増やしまちなか緑化を推進する。	みどりに関する講座を開催する。(花と緑の園芸楽校等)		
指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)		
	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合 【算出式: 普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数×100】	みどりに関する講座の受講者数(累計)	みどりに関する講座の開催数(累積)		
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	
	目標(見込み)	48 49 49 50	40 173 326 499	1 6 12 19	
	実績	22	190	3	
達成度	46%			475%	300%
分析	コロナ禍の影響によりスマホアンケートしか実施できず、回答数も73人であった。今後は調査方法を含め、実績値の抽出方法の検討が必要である。	市立中学校から出前講座の要請があり、実績値が目標値を上回った。	市立中学校から出前講座の要請があり、実績値が目標値を上回った。		

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。				みどりに親しむ機会を増やすことで、みどりづくりに関わる市民を増やし、まちなか緑化を推進する。				各種啓発イベントを実施。 (シンポジウム、緑化フェスティバル)			
指標設定②	指標説明	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合				イベントの参加者数(累計)				啓発イベントの実施件数(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	48	49	49	50	0	4,000	8,100	123,000	0	1	2	3
	実績	22				0				0			
	達成度	46%				0%				0%			
	分析	コロナ禍の影響によりスマホアンケートしか実施できず、回答数も73人であった。今後は調査方法を含め、実績値の抽出方法の検討が必要である。				イベントはコロナ禍の影響により全て中止した。				イベントはコロナ禍の影響により全て中止した。			
ロジックモデル③		都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。				みどりに関する支援を行うことで、まちなかの良質なみどりの保全や創出につなげる。				みどりに関する各種支援申請を受け付ける。 (緑化活動団体支援事業、新生児誕生記念苗木配布事業、花いっぱい健康づくりプロジェクト、花と緑のまちづくり事業緑化樹木配布事業)			
指標設定③	指標説明	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合 【算出式: 普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数×100】				みどりに関する支援団体数(累計)				みどりに関する支援申請数(個人は除く)(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	48	49	49	50	2	5	9	14	2	5	9	14
	実績	22				11				11			
	達成度	46%				550%				550%			
	分析	コロナ禍の影響によりスマホアンケートしか実施できず、回答数も73人であった。今後は調査方法を含め、実績値の抽出方法の検討が必要である。				花いっぱい健康プロジェクトに参加している7団体から支援の要請があり、実績値が目標値を上回った。				花いっぱい健康プロジェクトに参加している7団体から支援の要請があり、実績値が目標値を上回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	39,551	20,988	24,772		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	592	495	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	40,143	21,483	24,772		
	物件費計	8,932	14,995	4,163	15,004	28%	
歳出計		49,075	36,478	28,935			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	350	8,151	1,639	10,180		
	歳入計	350	8,151	1,639	10,180		
一般財源		48,725	28,327	2,524	4,824		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 R2年度は、市内福祉関係施設7か所で高齢者が育てた花苗を公園に植栽する「花いっぱい健康づくりプロジェクト」を実施するとともに、「緑化活動団体支援補助金」を創設し緑化活動団体の支援、新生児誕生記念苗木の配布、公園アダプト172団体による特色ある公園づくり等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、みどりのプラットホームについては、活動の担い手の確保が困難で当初の計画どおりの活動ができなかった。また、「みどりでつながるまちづくりシンポジウム」や「花と緑の園芸楽校」についても中止となった。本事業は、前述のとおり中止や実施できなかった取り組みがあり、予算執行率は27.7%にとどまったが、講座のニーズや支援の要請は高い傾向にあり、また、委託の変更契約や参加者への連絡など中止等に伴う対応のため平時と変わらない人員が必要であった。

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	コロナ禍の中でも持続的に取り組みが行えるよう既存の取り組みを整理し、身近な場所から「まちなか緑化」に取り組める環境整備を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	プレーパーク推進事業														
測定年度	2020 (R2) 年度				部	土木部				課	みち・みどり室				
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針			R2	R3			R4				
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標			24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名			24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	自然の中で自らの創造や工夫により自由に遊びたい子ども
	サブターゲット	小さい時に自らが経験した自然の中での自由な遊びを子供にも経験させたいという保護者
	ターゲットが抱える課題	子どもが自らの想いで自由に遊べる自然の遊び場が少ない。
	ターゲットが抱える課題	まちなかの公園でも思い切って自由にボール遊びができないなど親が願う子どもの発育を支える環境が身近な場所がない。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。
------------------------	---

事業概要	<p>子育て環境の充実と地域の活性化を図るため、子どもたちが創造や工夫により自ら遊び場を作る「子どもの冒険遊び場」として、まちなかにある斜面林という立地条件を活かし、香里ヶ丘地区の桑ヶ谷の緑地において市民活動団体と協働してプレーパーク事業を行うもの。                  (活動団体) ひらかたプレーパーク実行委員会 (活動場所) 桑ヶ谷公園隣接緑地 (約1.3ヘクタール)                  (活動内容) プレーパークの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回につき2～3時間、1回/月、年に12回程度の開催</li> <li>・木材を利用したブランコや竹細工、ツリーテラスづくりなどを実施</li> </ul>
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																			
		子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。	プレーパークに参加できる機会が増える。	プレーパークの開催を推進する。																																			
指標設定	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式: 満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】	各年度におけるプレーパークの子供参加者数	各年度におけるプレーパークの開催数																																			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																			
	指標数値																																						
	達成度	163%	195%	75%																																			
	分析	一般的な公園ではできないような自然の遊びの場を提供したことが、利用者の評価を高めたと考えられる。	コロナ渦の中で娯楽・スポーツ施設の多くが閉鎖される中、屋外である自然の遊び場が親子世代の人気を集めたと考えられる。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言中は開催を中止したが、スケジュール見直しにより減少数を抑えることができた。																																			
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98</td> </tr> </table>	単位	%	R2	60	R3	65	R4	70	R5	75	実績	98	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>703</td> </tr> </table>	単位	人	R2	360	R3	390	R4	420	R5	450	実績	703	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9</td> </tr> </table>	単位	回	R2	12	R3	13	R4	14	R5	15	実績
単位	%																																						
R2	60																																						
R3	65																																						
R4	70																																						
R5	75																																						
実績	98																																						
単位	人																																						
R2	360																																						
R3	390																																						
R4	420																																						
R5	450																																						
実績	703																																						
単位	回																																						
R2	12																																						
R3	13																																						
R4	14																																						
R5	15																																						
実績	9																																						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.93
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,369	8,235	6,242		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,369	8,235	6,242		
	物件費計	0	12,752	1,409	2,156	65%	
歳出計		3,369	20,987	7,651			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		3,369	20,987	1,409	2,156		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 香里ヶ丘地区の桑ヶ谷緑地において、緑地の保全と子育ての充実を図るため市民団体に委託してプレーパークを実施している。本事業は、R1年度から実施を開始した事業であるが、R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数や入場者数を制限したこともあり、前年度と比較して利用者数の合計は低下したが、満足度は極めて高く、子どもの参加者数も大幅に増加しており、事業は順調に進捗していると判断できる。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しながら、事業の実施や広報活動を行っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市計画公園車谷公園改修事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	土木部			課	みち・みどり室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2019 (R1) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	車谷公園の近隣に住む住民すべて。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	車谷公園が大阪府施工の都市計画道路内里高野道線の道路用地にかかる事から、公園面積が減少する。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平成27年度に都市計画変更を行った区域において公園整備を行い、道路事業によって失われたまちなかのみどりや憩いの場を創出し、近隣住民に提供する。					
事業概要	当事業は、都市計画変更を行った区域の用地取得を行い、公園として整備するものです。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		公園整備により、道路事業によって失われたまちなかのみどりや憩いの場が近隣住民に提供される。				計画どおりに整備が進む。				取得した用地において、公園整備を行う。			
指標説明		失われた公園面積の復元率 (復元目標公園面積=417m <sup>2</sup> )				整備計画の進捗率				公園整備面積			
		単位		%		単位		%		単位		m <sup>2</sup>	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	100	-	0	0	100	-	0	0	417	-
	実績	0				0				0			
達成度		0%				0%				0%			
分析		地権者からの用地売却申出を受けて、予算確保等を行うため、R2年度の進捗はなし。				地権者からの用地売却申出を受けて、予算確保等を行うため、R2年度の進捗はなし。				地権者からの用地売却申出を受けて、予算確保等を行うため、R2年度の進捗はなし。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.78
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	6,414	14,196	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	6,414	14,196	
	物件費計	—	3,080	0	0	—
	歳出計	—	9,494	14,196		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	9,494	0	0	

#### 5. 総括的分析

本事業は、大阪府事業「都市計画道路内里高野道線」整備において、車谷公園の一部敷地が道路用地となることから、都市計画変更を行い公園の改修を行うものであるが、現時点で用地取得方法がなく、当該用地地権者より土地売買の申し入れ意向があった場合、他の都市計画公園との優先順位等を勘案し検討していく必要がある。  
 内里高野道線による車谷公園の切り取り部分の公園整備工事については、大阪府で実施される予定であり、R2年度は工事実施時期について大阪府との調整・協議等を行った。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	大阪府による内里高野道線の工事実施時期を確認し、公園整備内容を協議していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	王仁公園施設再編計画策定・推進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名	24-1.公園施設の整備と維持管理											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	スポーツや健康増進の場に加えて、イベントやまちづくり事業などによって魅力アップした公園利用の機運を待っている市民				
	サブターゲット	多様な主体の連携によって公園を利活用したい市民団体、事業者等				
	ターゲットが抱える課題	気軽にスポーツや健康増進ができる公園がない。 魅力ある施設やイベントを行っている公園が少ない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービスの向上が図れる。加えて、老朽化し質の低下した施設の更新が進むことで公園の利便性、安全性が高まり、ターゲットのニーズを満足できる公園となる。					
事業概要	王仁公園は市の東部に位置する総合公園で、公園内には屋外プール、運動広場、テニスコート等のスポーツ施設をはじめ芝生広場やビオトープなどがある。本公園は昭和46年の開設から50年近くが経過するため、施設の老朽化や公園利活用の増進が課題となっている。このため、市民へのより良いサービスの提供と維持管理の効率化など、プールの機能を含めた施設全体を包括的かつ経営的にパークマネジメントする視点に立ち、PPP/PFI手法の導入による民間活力の活用を含め、今後の公園のあり方について検討し、施設再編を進める。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	市民のニーズを満足できる王仁公園となっている。	民間活力を活用し、多様な主体の連携によって公園が魅力アップし、公園利用者数が増える。	パークマネジメントの考え方を取り入れ、民間活力の活用を含めた整備を行う。	
指標設定	指標説明	市民の王仁公園に対する満足度 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。	・公園有料施設・便益施設等の利用者数 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。	・PPP/PFI手法により民間事業者が設置する飲食店等の施設の誘致数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	単位 人	単位 件
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	70 75 75 75	90,000 90,000 90,000 20,000	0 0 0 0
	実績	69	30,000	0
	達成度	99%	33%	0%
分析	目標値に向けて進捗しており、市民の満足度も概ね高い傾向にあると判断できる。	コロナ禍の影響でプール停止や公園有料施設を一時閉鎖したにより利用者数が減少した。	コロナ禍の影響により市場性等の調査確認が行うことができなかった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	40,274	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	40,274	
	物件費計	—	—	6,325	9,800	65%
	歳出計	—	—	46,599		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	6,325	9,800	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 より良い市民サービスの提供と維持管理の効率化を図るため、気軽にスポーツや余暇を楽しめる魅力あふれる公園のあり方の検討を進め、パークマネジメントの考え方を取り入れながら、民間活力の活用を含めた基本方針の策定に取り組んでいる。  
 R2年度は、市民アンケートや民間サウンディングによる市場性等を調査確認し様々な提案を受けたが、コロナ禍の影響から基本方針の策定スケジュールを延期した。コロナ禍で民間サウンディングを実施しにくい状況であるが、ICTなどを活用し効果的なサウンディングを行っていく必要がある。

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービス向上につながり、市民ニーズを満足できる公園となるよう努めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	中部別館維持管理事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	不明				年度	～							
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則												
関係補助金名称												サンセット	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	土木部中部別館で勤務する職員											
	サブターゲット	来庁する市民 来庁する事業者											
	ターゲットが抱える課題	庁舎機能が不全であると業務効率が低下するとともに、災害時の機能維持が困難になる。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	業務や要望行為等を円滑に行う執務状況を確保することで業務効率が向上するとともに、適正な維持管理により災害時の機能確保が可能となる。												
事業概要	東田宮一丁目地内において、土木部みち・みどり室の庁舎事務所および資材管理施設である土木部中部別館の管理業務として清掃業務、冷暖房点検業務、給湯ボイラー点検業務、防災設備点検業務、受水槽点検業務、エレベーター点検業務、自動扉点検業務等の委託や直営による維持管理を行うもの。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						中部別館が適切に維持管理できている。				中部別館の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				点検等の実施回数 【自家用工作物保守6回/冷暖房設備点検8回/ボイラー保守点検4回/防災設備点検2階/受水槽清掃2回/エレベーター保守点検24回/自動扉4回/害虫駆除2回】			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	52	52	52	52
	実績					89.65				51			
	達成度					110%				98%			
分析					予算額と決算額の差異は、市有建築物保全計画に基づく工事請負費の契約差金であり、日常の維持管理、修繕等については予定どおり執行できており、執行率も高い。				ボイラーを年度途中で撤去し給湯器に変更したため点検回数が年間4回から3回と減少したが、その他の点検は計画どおり実施できている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,474	9,839	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	365	431	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,839	10,270	2,393		
	物件費計	14,712	20,538	52,263	58,299	90%	
	歳出計	22,551	30,808	54,656			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	22,000	25,500		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	22,000	25,500		
一般財源		22,551	30,808	30,263	32,799		

#### 5. 総括的分析

市有建築物及び庁舎として機能等を維持するため、法定点検や清掃、警備などについて委託を行った。また、R2年度は市有建築物保全計画に基づき、外壁・防水改修工事、給湯設備改修工事を実施した。  
 総括的分析 予算額と決算額の差異は市有建築物保全計画に基づく工事請負費の契約差金であり、日常の維持管理、修繕等に係る予算の執行率は高い。同施設は法定点検や庁舎機能を維持するための委託に加え、施設の老朽化による修繕や保全計画対象外の工事等を適宜実施して必要があり、より効率的な予算執行が求められる。

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	スケールメリットと業務の効率化を図るため、R3年度から清掃業務や警備業務などの各種委託業務を統合し施設総合管理委託に移行する。また、施設の老朽化や建築基準法第12条に基づく建築物の定期点検の是正事項の改善など、今後、修繕費用の増大が見込まれるため、安全面、業務への影響性等を考慮しながら計画的に対応していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	土木部			課	みち・みどり室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公園近隣に住む住民すべて。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルコストが確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。
---------------------------	---

事業概要	<p>安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減することを目的に、予防保全の観点で定めた「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の更新・改築等を行う。</p> <p>【対象公園】 都市公園:84か所</p> <p>【計画期間】 平成25年～令和5年(10か年)</p> <p>※予防保全 完全に壊れてから更新するのではなく、損傷状況を事前に予測し、保全処理を行うことで、施設のライフサイクルを延長させる維持方法。 (対義語:事後保全)</p>
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						計画通りに公園施設の更新・改築等が出来ている。				「公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の更新・改築等を実施する。			
指標設定	指標説明					「公園施設長寿命化計画」の実施達成率				公園施設の更新・改築件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					70	80	90	100	18	20	15	12
	実績					83				22			
	達成度					119%				122%			
分析					国庫補助金を効果的に活用する観点からR3年度の実施予定分をR2年度に前倒して実施したため、実施達成率は目標値を上回っている。				国庫補助金を効果的に活用する観点からR3年度の実施予定分をR2年度に前倒して実施したため、件数は目標値を上回っている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.22
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.36
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,083	9,781	9,730	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	1,258	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	9,083	9,781	10,988	
	物件費計	38,945	43,001	76,456	45,000	170%
歳出計		48,028	52,782	87,444		
歳入	国庫支出金	12,380	14,000	24,500	11,000	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	11,100	0	45,700	31,500	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	23,480	14,000	70,200	42,500	
一般財源		24,548	38,782	6,256	2,500	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの削減を図るため、H25年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めている。R2年度は、阪今池公園他15公園について遊具等の更新を実施した。本事業の予算執行率は、169.9%となっているが、これは国庫補助金を効果的に活用する観点からR3年度の実施予定分をR2年度に前倒して実施したためである。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	R3年度は、実施予定分をR2年度に前倒して実施している。引き続き、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	みち・みどり室運営事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	土木部				課	みち・みどり室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	不明				年度	~		年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称								サンセット	~			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	課職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑な状態にある。											
事業概要	みち・みどり室運営事務:市議会・組合等に対する調整及び交渉、行政評価及び事業計画、庁内外への照会・回答処理、事務引継等に関する事務。 みち・みどり室庶務事務:予算及び決算、職員の給与・休暇、消耗品等の物品の契約・購入、市民の要望・苦情の受付等に関する事務。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.62
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.19
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,424	31,336	28,870		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	273	4,584	6,751		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,697	35,920	35,621		
	物件費計	19,948	9,098	16,201	18,739	86%	
	歳出計	22,645	45,018	51,822			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	117	0	0		
	歳入計	0	117	0	0		
	一般財源	22,645	44,901	16,201	18,739		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 予算・決算、各種照会・回答など室内の連絡調整及び執行管理、室在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と、みち・みどり室特有の事務である道路補修及び公園に関する市民等の通報・要望等の受付(道路関係約2,900件、公園関係約2,200件)を行っており、相当の人員を要する業務となっている。  
 受付業務については、災害情報システムを活用して受付内容に応じた伝票を作成しているが、実態として現場対応は紙ベースが主流なため、電子化や効率化のためのさらなるICTの利活用について研究が必要である。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、室内の連絡調整及び執行管理を適切に行っていく。また、受付業務については、通報・要望等の対応が適切に行われるよう受付後の進捗確認を強化していく。